

# 第16回 ロビー音楽会

鮫島有美子 with 小川典子

ソプラノ・リサイタル



日時 : 2011年11月8日(火)  
午後6時30分開演

会場 : 前田病院外来ロビー

---

# 鮫島有美子 with 小川典子

## ソプラノ・リサイタル

### 日本のうた・世界の歌

---



花の街  
「六つの子供の歌」より“秋の野”  
かんぴょう  
この道

江間 章子 / 團 伊玖磨  
北原 白秋 / 團 伊玖磨  
北原 白秋 / 福井 文彦  
北原 白秋 / 山田 耕筈

からたちの花 <ピアノ・ソロ>

山田 耕筈

曼珠沙華

北原 白秋 / 山田 耕筈

ラ・カンパネラ <ピアノ・ソロ>

リスト

マルリングの鐘たちよ  
三人のジプシー

リスト  
リスト

~~~~~ 休憩 ~~~~~

一本の鉛筆  
翼  
見えないこども

松山 善三 / 佐藤 勝 / 渡辺 俊幸編曲  
武満 徹 / 武満 徹  
谷川 俊太郎 / 武満 徹

雨の樹 素描 <ピアノ・ソロ>

武満 徹

うたうだけ  
小さな空

谷川 俊太郎 / 武満 徹  
武満 徹 / 武満 徹

ラブソディ・イン・ブルー <ピアノ・ソロ>

ガーシュイン

菩提樹  
Je te veux ジュ・トゥ・ヴ  
バラと柳  
ウィーン、我が夢の街

シューベルト  
サティ  
グァスタビーノ  
ジーツインスキー

## 東日本大震災復興支援のために

本日演奏して下さる鮫島有美子、小川典子のお二人は、今年3月11日の東日本大震災の後、直ちに被災者の支援のためのリサイタルや演奏活動を開始されました。その後、国内にとどまらず海外においても、音楽を通じた復興支援に尽力されています。

今回、お二人から届いたプログラムには、それ以来ず〜っと変わることのない祈りと願いが込められているように思われました。

荒廃からの復興、想い出、希望、愛、夢・・・。

どうぞ今夜のリサイタルが、皆さまにとって記憶に残るものでありますように。

\*\*\*\*\*

### 「花の街」 江間 章子 / 團 伊玖磨

七色の谷を越えて  
流れて行く 風のリボン  
輪になって 輪になって  
駆けていったよ  
歌いながら 駆けていったよ

美しい海を見たよ  
あふれていた 花の街よ  
輪になって 輪になって  
踊っていたよ  
春よ春よと 踊っていたよ

すみれ色した窓で  
泣いていたよ 街の角で  
輪になって 輪になって  
春の夕暮れ  
ひとり寂しく 泣いていたよ



作詞者 江間章子氏が「花の街」に寄せたことば

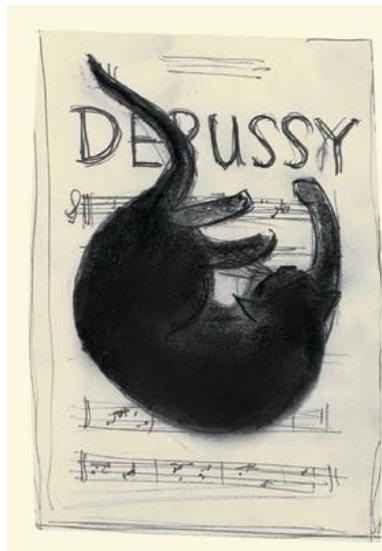
「花の街」は私の幻想の街です。

戦争が終わり、平和が訪れた地上は、瓦礫の山と一面の焦土に覆われていました。その中に立った私は夢を描いたのです。ハイビスカスなどの花が空中に浮かんでいる、平和という名から生まれた美しい花の街を。

詩の中にある「泣いていたよ 街の角で……」の部分は、戦争によってさまざまな苦しみや悲しみを味わった人々の姿を映したものです。

この詩が曲となっていっそう私の幻想の世界は広がり、果てしなく未来へ続く「花の街」となりました。

(『中学生の音楽 1』教育芸術社 平成9年)より



医療法人 幸善会 前田病院

〒848-0027 佐賀県伊万里市立花町 2742-1

TEL 0955-23-5101 FAX 0955-23-3315

URL:<http://www.maeda-imari.or.jp>

## ソプラノ 鮫島 有美子

### ■プロフィール

東京芸術大学声楽科、および同大学院修了。安宅賞受賞。

1975年、二期会オペラ「オテロ」のデズデーモナで主役デビュー。その後ドイツ政府奨学生としてベルリン音楽大学に留学。名ソプラノ、エリザベート・グリュンマーに学ぶ。同在学中より、ドイツ国内やヨーロッパ各地で様々な演奏活動を始め、1982年よりドイツ、ウルム歌劇場の専属歌手として種々の大役を演じてきた。

1985年、レコードデビューとなった「日本のうた」で一躍脚光を浴びる。ドイツをはじめ各ヨーロッパ諸国、中南米、そして日本でも、オペラやリサイタル、全国にわたるコンサートのツアー、テレビ、ラジオなど精力的にその活動の場を広げている。1992年には、日本の代表的なオペラ「夕鶴」のつを初めて演じ、絶賛を受けて再演を重ねた。1998年にはモスクワ公演に参加。1993年、NHKホール20周年記念公演「漂泊者のアリア」の砂原美智子役に抜擢され、沢田研二、風吹ジュンらと共演。



1995年シェイクスピア作「オセロー」のデズデーモナ役に抜擢。平幹二郎、村井国夫らと共演、クラシックの歌手として稀な分野への試みで大役を果たした。

新国立劇場においては、1999年に創作オペラ「罪と罰」のヒロインのソーニャ、2000年にオペラ「夕鶴」の新演出でつを演じている。2005年、演劇界の鬼才、栗山民也演出によるオペラ「夕鶴」では、オーケストラピットを使用しないひとときシンプルな舞台上で演じた見事なつうに、今までにも増して高い評価を得た。2008年1、2月には好評につき「夕鶴」を再演。最近ではオペラや夫君ヘルムート・ドイチュとのリサイタル・ツアーの他、コンサートのMC役や宮川彬良氏とのコラボレーションのステージなど、新しい試みにも意欲的に取り組んでいる。

1990年、日本ゴールドディスク大賞、1991年度、大阪ザ・シンフォニーホール・クリスタル賞受賞。コロムビアミュージックエンタテインメントやビクターエンタテインメントより、数々のCDアルバムがリリースされている。

著書「歌の翼に」(音楽之友社)、「プラタナスの木蔭で」(時事通信社)、訳書「伴奏の芸術」(ムジカノーヴァ)。

二期会会員。洗足学園音楽大学客員教授。名古屋芸術大学客員教授。

## ピアニスト 小川典子

### ■プロフィール

1987年リーズ国際コンクール第三位入賞を機に、ロンドンと東京を拠点として活躍。日本はもとより、世界の主要オーケストラ・指揮者との共演も数多い。

録音は、北欧最大のレーベルBISと専属契約を結び、25枚を超える話題のCDをリリース。現在進行中の「ドビュッシー・ピアノ曲集」は、英グラモフォン誌、レコード芸術誌ほか世界各誌で特選盤となる。

2008年にはサントリーホールでデビュー20周年記念リサイタルを開き「光の角度によって異なる色合いを放つオパール石のような輝き」と絶賛された。近年はミネソタ管、ロイヤル・リヴァプール管、フランス・リル管、シンガポール響、BBCウェールズ響、などと共演。室内楽にも積極的で、数々の著名なアーティストと共演。世界各国への演奏旅行、著名な国際コンクールの審査、各国でマスタークラスなど、国際的で多彩な活動を展開している。



© Milena Mihaylova

邦人新作委嘱に意欲を見せ、菅野由弘「アースストリーム」(2007年ミュゼ川崎)、藤倉大「アンペール」(2009年ロンドン)世界初演。ミュゼ川崎にて菅野由弘「光の粒子」(2009年)、「水の粒子」(2010年)を世界初演。英国、ノルウェー、ニュージーランド、フランスで各国初演。2011年2月には菅野由弘「虹の粒子」を世界初演。

2011年は拠点とする英国・日本はもとより、アメリカ、アイルランド等でのコンサートや、BISとのレコーディングが予定されている。また2012年ドビュッシー・イヤーには、英国マンチェスター・ブリッジウォーターホールで開催予定の「Reflection on Debussy〜ドビュッシーの反映」音楽祭の企画担当を務め、1月から6月まで数週間おきに自らもドビュッシーを中心としたプログラムでリサイタルや室内楽を行う他、子どものための教育プログラム、マスタークラス、アウトリーチ、日本文化の紹介等も計画中。

情熱を注ぐ「ジェイミーのコンサート」は各紙・NHKテレビで大きく紹介されている。エッセイ集「夢はピアノとともに」(時事通信出版局)好評発売中。ピアノの本「ブルドッグがピアノを弾くとき」好評連載中。

東日本大震災からの復興に向け、いち早く活動を開始。世界中の聴衆に語りかけ、英国赤十字社・英国ジャパン・ソサエティを通じた支援金集めを続けている。

ミュゼ川崎シンフォニーホールアドヴァイザー、「ジェイミーのコンサート」主宰。

東京音楽大学客員教授、英ギルドホール音楽院教授。1999年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞、2006年川崎市文化賞受賞。